

令和6年度 SUZUKA 女性活躍推進連携会議(会議録)

○日 時:令和6年9月 27 日(金)15:00～

○場 所:市役所本館6階 庁議室

○出席者:【幹事6名】

田中 彩子(鈴鹿商工会議所)

前田 弘樹(鈴鹿工業クラブ)

平子 伸(鈴鹿農業協同組合。以下「JA 鈴鹿」とする。)

白木原 香織(鈴鹿工業高等専門学校。以下「鈴鹿高専」とする。)

堀 保(鈴鹿公共職業安定所。以下「ハローワーク鈴鹿」)

廣田 隆延(教育長)

【オブザーバー1名】

朴 恵淑(三重大学)

【代表】

市長

【事務局5名】

地域振興部長、地域振興部次長、男女共同参画課長、男女共同参画課2名

○資 料: 事項書

(資料1)連携会議の組織図／展開図

(資料2)名簿

(資料3)座席表

(資料4)令和5年度 事業報告

(資料5)関連事業チラシ(令和5年度)

(資料6)令和6年度 予定事業一覧

ー開会ー

本会議は、「鈴鹿市意見聴取等のための会議」に関する規定に位置付け、鈴鹿市 情報公開条例 第 37 条及び審議会等の会議の公開に関する指針に基づき原則公開する。

本日の傍聴はなし。会議録については、発言者を代表、幹事、オブザーバー、事務局と表記し要約する。

○事務局

・事項書に沿って進める前に、会議の趣旨と会議録の公開等について説明。

・鈴鹿女性活躍推進連携会議は、平成 27 年の女性活躍推進法の第 27 条に位置付けられた会議体である。((資料1)連携会議の組織図／展開図)参照)。

・情報共有や研修会、人材育成セミナーなど、民学官が一体となり取り組むことで、それぞれの事業所における女性の活躍推進への機運を醸成し、市の活性化と男女共同参画意識の底上げを図ることを目的としている。

・女性活躍について、本市の現状、民間の事業所等の状況把握など、情報共有をし、本市における課題を解決するための事業を企画提案し、そこに参画して得た情報やノウハウを、それぞれの現場で実践することで、成果を上げていくというサイクルで、本市全体の女性活躍の推進を図る。

・また、オブザーバーには、すでに先進的な取り組みを進めている立場から、忌憚のな

い御意見やアドバイス等をいただきたい。

事項1 代表挨拶

○代表

- ・世界経済フォーラムが毎年公表するジェンダーギャップ指数において、今年日本は146 か国中118 位であった。昨年度より持ち直したが、依然世界的には後れを取っている状況。
- ・今年7月上旬に政府が決定した「女性版骨太の方針 2024」では、男女共同参画を推進するため、「人材の育成」を横串に据えた方針になっている。
- ・その上で、「Ⅰ 企業等における女性活躍の一層の推進」、「Ⅱ 女性の所得向上・経済的自立に向けた取組の一層の推進」、「Ⅲ 個人の尊厳と安心・安全が守られる社会の実現」、「Ⅳ 女性活躍・男女共同参画の取組の一層の加速化」の4つの柱に沿って、持続的で広がりのある取組の推進を目指すものとなっている。
- ・関係機関の積極的な連携のために、本市ではこのSUZUKA 女性活躍推進連携会議を連携強化の場として開催し、取り組んでいきたい。
- ・本市では、「第3次鈴鹿市男女共同参画基本計画」が始動。
- ・前回の第2次基本計画策定時は66.6%であった市内の男女共同参画意識の普及度は、第2次基本計画の最終年度には77.4%まで上がった。
- ・また、審議会における女性の登用を進めるだけでなく、いずれの性も40%を下回らない、男女比率の適正化にも取り組んでいる。各団体の皆様におかれましても、本市の審議会や協議会への委員の推薦について御協力いただきたい。

事項2 幹事自己紹介

「(資料2)名簿」の順に挨拶。

事項3 事務局報告

○事務局

- ・「(資料4)令和5年度 事業報告」及び「(資料5)関連事業チラシ(令和5年度)」参照のこと。
- ・(2ページ)「令和5年度 事業報告一覧」。
- ・(3ページ)「リコチャレ 2023」について。リコチャレは、理工チャレンジの略で、男女を問わず、理工系への関心や興味を持ってもらうためのイベント。令和5年度は8月18日(金)に、ジェフリーすずかホールにて開催。鈴鹿工業高等専門学校 電子情報工学科の御協力で、小学校低学年から中学生までの生徒に、「電気は空を飛ぶ！？ワイヤレス給電の実験」と題し、生活の中で活用するワイヤレス給電について、専門的な機械を触りながら、実験を通して原理などを学んでいただいた。
- ・(4ページ)「SUZUKA 女性活躍推進フォーラム」について。(資料5)関連チラシあり。11月4日(土)に、すずか応援アンバサダー(旧名称:鈴鹿市シティセールス大使)の浅尾美和さんを迎え、トークイベントを開催。場所は、鈴鹿医療科学大学白子キャンパスの講堂。第1部は浅尾さんのスペシャルトーク、第2部はトークセッションを開催。第2部のトークセッションでは、浅尾さん、同大学の准教授である河尻純平先生、女性活躍に注力されている富士フイルムマニユファクチャリング株式会社様の女性エンジ

ニアの山下妙子さんに御登壇いただいた。来場者にも「自分らしさを持って、自分の仕事や家庭に向き合う」ことへのエンパワメントに繋がったイベントとなった。イベントの多い時期であったが、約 230 人の来場。

・(5ページ)「女性デジタル人材育成支援研修」について。(資料5)関連チラシあり。国が提唱する「女性版骨太の方針」にも、女性デジタル人材の育成が示されており、令和5年度から本市においても女性向けのデジタル講座を開始。「AI の基礎を学べる入門講座」と題して、AI を使いこなす上で必要な人間力や、考え方、生成 AI を体験するという流れで、3 回の講座を実施。各講座、約 40～60 人の参加。なお、本講座は、ハローワーク鈴鹿様にて求職活動として認定いただき、全講座を受講した方に「求職活動証明書」を発行。

事務局からの事業報告は以上。

－質疑応答－

○幹事(鈴鹿高専)

資料の訂正をお願いしたい。「(資料4)令和5年度 事業報告」2ページの鈴鹿高専の学科名について、令和5年度に担当した学科は、「電子情報工学科」ではなく、「電気電子工学科」。

○事務局

謝罪し、訂正。

○幹事(鈴鹿商工会議所)

事業に参加した方からの感想などは取られているか。どのようなお声があったか。

○事務局

・全3回で行った女性デジタル人材育成支援研修では、マイクロソフト社内の本部長に来ていただき、「ChatGPT をはじめ、Copilot(コパイロット)の実演や、HoloLens (ホロレンズ)でのバーチャル体験用の機器を持参いただいた。そのため、「最新機器を体験できたことが大変興味深かった」といった声や、グループワークを行ったことについて、「普段の生活であまり機会のなかったグループワークをできたことが大変楽しかった」などのお声を頂いた。

・リコチャレについても、専門的な機器を用いて、ワイヤレス給電の実験をしたことが保護者から好評で、子どもさんからも大変楽しかったとのお声を頂いた。

○幹事(鈴鹿高専)

リコチャレは小学生の参加率が高いイベント。小学生の場合は保護者同伴で参加していただいている。中学生の参加も広げたい。

○幹事(教育長)

STEAM 教育の出前講座についても、鈴鹿高専様と連携させていただいており、昨年度は小学校が中心だったが、今年は中学校にも広げていただきたい。

○オブザーバー(三重大学)

・リコチャレは夏休み開催ということもあって、親子で自由研究のアプローチにもなる。こちらの周知啓発はどのようにされたのか。学校へ直接呼びかけ等行ったのか。

・参加した親子のそれぞれの考えが相関で分かるアンケートはあるか。

・「女性デジタル人材育成支援研修」の参加者について、参加者の傾向や、今後、初級・中級・上級として継続的で戦略的な計画はあるのか。

- ・写真を見ると、今後DXを進めているのであれば、紙ベースでのディスカッションもいいが、デジタルツールを使った研修もいいのでは。

○事務局

- ・リコチャレの広報は、市広報紙及びウェブサイトでの周知。学校へ直接呼びかけは行っていない。
- ・親子それぞれの考えを相関するアンケートは取っていない。
- ・国の「女性版骨太の方針」の中で R4～6年度に女性のデジタル人材育成が示されており、雇用の部分で IT 関連の事務職へ女性がチャレンジできるよう事業を展開する方針。鈴鹿市でも、昨年から事業開始し、来年度も継続予定。
- ・昨年度の本市で実施した女性デジタル人材育成支援研修で収集したアンケートにおいて、情報セキュリティを学びたいという声があったので、今年度は情報セキュリティをテーマに研修を行う。

○幹事(JA 鈴鹿)

11月4日に開催したSUZUKA女性活躍推進フォーラムについて。浅尾さんをはじめ、大学、企業からそれぞれ出演していただいたということだが、その働きやすさや、改善していくべき具体的な点、また鈴鹿市として働きやすい点等は挙げられていたか。

○事務局

- ・河尻先生については、大学准教授ということで、子育てをする中で、正直大変な部分はあるが、自ら向き合う姿勢を持つことで、楽しく取り組んでいるとのこと。山下様についても、組織内の制度的な詳細の言及はなかったが組織的に働きやすい仕組みになっているとおっしゃっていた。
- ・皆さん、職場の環境や、上司・周りの理解があって、子育てと仕事を両立しているとのこと、課題というより前向きな御発言が多かった。
- ・浅尾さんについては、早朝の生番組に出演することが多く、仕事を全て終えてお子さんを迎えに行くというサイクルになっている、というお話もされていた。

事項4 事業案内

○代表

- ・「(資料6)令和6年度 予定事業一覧」参照のこと。市主催の主なイベントは3つ。
- ・1つ目。今年度9月に実施する「女性デジタル人材育成支援研修」について。今年度は「高専で学ぶ！女性のための情報セキュリティ講座」として、9月5・12・19日(毎週木曜)に、全3回講座を実施。鈴鹿高専 電子情報工学科の桑野先生に講師をお願いし、情報セキュリティについて、40代の方を中心に、20代から70代の市内在住の女性の方、約30人参加。(資料6)の裏面に当日の様子を掲載。参加者からは大変有意義な講義だったと好評だった。なお、本事業はハローワーク鈴鹿様にて求職活動として認定いただき、全3回の講座を受講した方に「求職活動証明書」を発行。
- ・2つ目。11月9日(土)開催予定の「リコチャレ 2024」について。こちらも鈴鹿高専様と連携し、子ども向けに理工系分野の進学を応援するイベントを実施する。テーマは「変幻自在のプラスチック素材、UVレジンやプラカップでオリジナルアクセサリーづくりに挑戦」。先着20名で9月20日に広報掲載。
- ・3つ目。12月開催の「ジェフリーふえすた 2024」について。この中で実施する基調

講演を SUZUKA 女性活躍推進連携会議関連事業として位置付け。講師は、世界最高齢プログラマーの若宮正子氏。若宮氏は、81 歳で iPhone 向けアプリ「hinadan (ひなだん)」を開発、世界的に注目を集めた。アップル社のイベントに招待され、国連の委員会でスピーチを行うなど、国際的な舞台で活躍。現在 89 歳。積極的にデジタル分野に関わろうとする活力を講演していただき、市内のデジタル・ディバイド(情報格差)解消にも繋げたい。

・その他、来年1月に「鈴鹿市ものづくり企業フェア」への啓発参加、2月頃に女性デジタル人材育成支援研修を予定している。

－意見交換－

○事務局

・リコチャレは令和元年(訂正:平成30年から)。デジタル人材育成支援研修は令和5年度から。

○幹事(JA 鈴鹿)

・女性デジタル人材育成支援研修について。昨年度は AI 基礎講座、今年度は情報セキュリティ講座、ということだが、参加者は増えているのか。

○事務局

・定員については、今年度は 30 名程度。鈴鹿高専様の教室をお借りし、備え付けのパソコンの台数に限りがあるため。

・昨年度収集したアンケートの結果「情報セキュリティを学びたい」というお声が多かったため、今年度の講座に繋がった。

・昨年度からのリピーターの参加もあった。40 代の方が多かった。

○幹事(鈴鹿商工会議所)

・全3回ということで、全てに参加しないといけない講座だったのか。写真の様子から、熱心な方が多かったのか。

○事務局

・基本は全講座に参加いただく条件であったが、都合が悪く全ての講座に参加できなくても分かるように、先生のほうで工夫していただいた。

・各講座終了後、多くの参加者が先生に直接質問されており、余韻が残る良い講座であった。

○幹事(JA 鈴鹿)

この女性デジタル人材育成支援研修は 2 月にもされる予定か。

○事務局

テーマを変えて後期事業として2月頃実施予定。次回もハローワーク鈴鹿様と連携し求職証明書を発行させていただきたい。

○幹事(ハローワーク鈴鹿)

求職証明書は失業保険受給中の方発行。今回は、鈴鹿市からの申出により全3回講座を受講された方に発行。

○事務局

今年度9月は 10 人の方に発行させていただいた。

○幹事(鈴鹿工業クラブ)

リコチャレについて、昨年は8月実施だが、今年は11月。毎年恒例の事業とするなら、同じ時期に開催してはどうか。

○幹事(鈴鹿高専)

昨年度は8月に実施したものの、8月は夏休みに入ったばかりで、9月末まで寮の学生も帰省し、学生がいない状態。学生TAの確保が難しかったため、今年度は調整の結果11月となった。

○事務局

なお、広報を9月20日号に掲載し、9月27日から申込開始したが、本会議前に確認したところ、すでに8割近くの申込があった。

○幹事(JA 鈴鹿)

1月の「鈴鹿市ものづくり企業フェア」への参加について、具体的な内容は。

○事務局

・今年度初めて、市内中小企業の企業展の中に、男女共同参画課としてブースを出展予定。展示啓発及びアンケートを実施する。また、各企業ともコンタクトをとり、女性活躍について何かアプローチできればと考えている。

・「鈴鹿市ものづくり企業フェア」自体は、産業部局が主催している催し。その中に一企業の出展と同様にブースを出す。

○代表

「ジェフリーふえすた 2024」基調講演について。若宮さんをお招きするのはデジタル分野に関係するということでの選定か。

○事務局

デジタル分野で年齢に関係なく活躍されていることや、様々なメディアで記事にもなっているので、ぜひ鈴鹿市でも講演していただきたいと考えている。

○幹事(鈴鹿商工会議所)

比較的高年配になられてからパソコンを使い始められている。

○事務局

・簡単なプロフィールを紹介させていただくと、1935年生まれで、高校卒業後に三菱銀行に就職。定年前にパソコンを購入し、Microsoft Excelを使って「エクセルアート」を考案。周りから「数式計算のためのエクセルなのに」と言われながらも、自分が楽しくできればいいという考えで、ゲームアプリの開発にまで至った、という経歴の方。

・電車を使って、全国各地へ一人で講演に回られている。

・20年以上続いてきたジェフリーふえすた 2024の中で講演をするので、若宮氏の年代でも元気に活動されている姿が皆さんに勇気を与えていると考えている。

○オブザーバー(三重大学)

この基調講演に限らず、全3回のデジタル人材の講座等において、参加できなかった方に対してオンデマンド配信等、今後検討いただければと思う。

○事務局

今後の事業に取り入れられるよう、検討させていただきたい。

○代表

毎年ブラッシュアップをかけて開催に努めている。御意見のオンデマンド配信等では

きる限り検討したい。本会議の皆様にも、基調講演に御参加いただければ幸いである。

事項5 その他

○事務局

- ・昨年度をもって、「第2次鈴鹿市男女共同参画基本計画」が終了し、「第3次男女共同参画基本計画」に移行した。策定にあたり御協力感謝する。今後とも、各団体様と様々な事業において連携し取り組んでまいりたい。
- ・本日の会議録は後日送付。確認後、市ウェブサイトへ公表に進める。
- ・本日の会議内容を各所属に持ち帰って共有していただきたい。

—閉会—